



2024-25年度 上田ロータリークラブ

- 会長 金子 良夫 ● 副会長 柳澤 雄次郎・三井 英和
- 幹事 酒巻 弘 ● 会報委員長 小林 浩太郎

第2961回例会 (令和6年10月7日)



ホームページQR

【慶祝】

お誕生月 4名

- 小熊直人さん
- 斉藤達也さん
- 土屋陽一さん
- 三井英和さん



【米山奨学生 金 セハさんへ奨学金の授与】

米山奨学生
金 セハさん



結婚記念月 7名

- 飯島 幸宏さん
- 小熊 直人さん
- 滋野 眞さん
- 関 勇治さん
- 土屋 陽一さん
- 保科 茂久さん
- 柳澤日出男さん



【会長挨拶】

金子 良夫 会長

10月に入り、めっきり涼しくなり、上着が必要な季節となりました。ロータリーの年度は7月に始まりから、4ヶ月目に入ったところから、ようやく1年の4分の1が過ぎたわけです。まだまだ長い1年間となります。



さて、10月は神無月と申します。昨年出雲大社に参りました折、出雲国では10月は『神在月』と呼んでいて、日本中の神様が出雲国に集まるのだという説明がありました。

出雲地方では旧暦10月を『神在月』と呼びます。この『神在月』には、神々が様々な会議をなさる『神在祭』が、出雲の各神社で行われます。出雲大社参拝はこの『神在祭』の時期がおすすめです。日本各地から集まった八百万の神が、『神謀り(かむはかり)』という名のご縁をつなぐ会議をされます。

来月9日は、軽井沢プリンスホテルで地区大会が開催されます。現在18名の登録をいただいております。

今年はバスの手配はいたしません。軽井沢は、しなの鉄道、新幹線で行くことができ、大変行きやすいところ

事業創立記念月 6名

- 小熊 直人さん
- 小幡 晃大さん
- 織 英子さん
- 林 秀樹さん
- 矢島 康夫さん
- 柳澤雄次郎さん



皆出席 1名

- 伊藤典夫さん(15年)



となっています。朝から夕方まで、会場ですっと座っていてくれとは申しません。会場内の展示ブースでロータリーグッズを買うのも良いです。因みに私は、毎年地区大会でロータリーグッズを買うのを楽しみにしております。隣接のアウトレットで息抜きをするのもいいと思います。まだ、一回も地区大会に参加をしたことがない会員の方はぜひ参加をしてもらい、2600地区の規模感を体感してもらいたいと思っています。直前まで登録は受け付けますので都合を付けてご参加ください。地区大会はメンバー全員がすでに登録しております。参加しなければならない行事であることを忘れないでください。

さて、今日は私のダイエットについて話しをします。私は、昨年6月から日本イーライリリーと田辺三菱製薬株式会社が扱う「マンジャロ」という皮下注射薬を打っています。昨年開始時の体重は120kg、本日現在90kgですので、1年半で30kg減量したわけです。週1回、おなかに注射するだけです。ほかの努力は何もしていません。このマンジャロという薬は、爆発的に売れて特に高容量のものは、アメリカで品薄が続き、日本でも供給不足となっていました。マンジャロは脳の視床下部(満腹中枢)に働きかけ、食欲を抑制します。また、胃の排出速度を遅らせることで満腹感が持続するため、結果として食事摂取量の減少と体重減少が促進されます。薬だけに頼るダイエットは身体に良くないとは思いますが、健康的な体重になるまでもう少し頑張りたいと思っています。

【「ロータリーの友」紹介】

雑誌委員会 酒井 喜雄 委員長

ロータリーの友 2024年9月号

■横書き 8ページ

「神々の棲む国ネパールで笑顔と
出会う教育支援」



ネパールには、ブッダの生誕地ルンビニがありヒマラヤの山々を望む景観からも「神々の棲む国」と言われています。

橋本RCの喜多さんは2000年9月に趣味の登山で訪れました。登山の後、第2640地区(大阪南部・和歌山)と2680地区(兵庫)合同で建設中の病院の進捗状況を確認したところ外観の約8割が完成してしまし、その素晴らしい奉仕活動に深く感動したそうです。

9年後の2009年5月、彼は再びネパールを訪れました。

今回の目的は、学校建設を含む学校支援のための視察でしたが、首都カトマンズは物価が高くクラブの予算では遠く及ばないことが分かり、帰国後、予算でできる支援を模索しました。翌年の2010年、「さいたまユネスコ協会」の協力を得て山間部を切り開き2つの教室を建設しました。さらに2012年に別の小学校で2つの教室を増設しました。この2つの小学校支援では、子供達をはじめ村民からの歓迎は大変なもので、会員みんなで感動を共有したそうです。

そんな中、3年後の2015年4月、ネパールをマグニチュード7.8の大地震が襲いました。

橋本RCでは180万円の義援金を持ってネパールを訪れました。首都カトマンズなどの大きな街は意外にも鉄筋コンクリートの建物が多く被害は抑えられたようですが、地方では昔ながらのレンガ造りの建物が多く被害は甚大だったそうです。地震後の学校支援は、建設費、材料費、人件費の高騰で継続支援が難しくなり会員以外からも寄付を募るようになってきたそうです。

活動を通じて子供たちの様子を見てみると、あることに気付いたそうです。

それは、高学年になるほど出席率が悪くなるということです。理由は、勉強し、ある程度読み書きができるようになると、子供達は労働力にされると言うことです。主な仕事は、薪集めで片道2～3時間かけて森林まで集めに行くそうです。

ネパールでは、料理の熱源は半数以上が今でも薪を使っています。農村部では80%近くになります。

そこで、橋本RCではバイオガストイレの設置にも着手しました。バイオガストイレとは、人や家畜の排泄物を地下タンクに貯め、メタンガスを発生させて調理用ガスとして利用する仕組みです。橋本RCのネパールへの支援は15年が経過し、その間7件の学校支援と159のバイオガストイレの設置を行いました。

震災後は、世界中から重機が寄せられ道路が整備され近代化を肌で感じるようになりました。ただ、近代化で地元の農業を捨て出稼ぎに出る大人が多くなることで、村の子供達の数が減っているそうです。それでも、自分たちの支援で引き出すことができた子供達の笑顔を見ることが何よりも楽しみなので、今年も教室の引き渡し式に行ってくるそうです。

■20ページ

「東京山の手ロータリークラブの推し活 Together」

今年の6月15日に都内の児童養護施設から190人の子供達を迎え、ボランティア等も含めると総勢470名でワークショップを開催した記事です。

まず「Together」という名前ですが、「Together」という単語の最後に「s」をくっつけて作った造語だそうです。元々の「Together」という単語の意味ですが、中学で習う英単語ですので当然皆さんはご存じだと思いますが「一緒に」とか「共に」と言う意味です。そこに「s」を付けた思いとは「障害のある人ない人、周りの保護者や友人、支える側の私たち参加者全員が同じ地平線に立ち歌、演奏、踊りなどを披露し、讃え合って一緒に集い」という願いから「s」を付けたそうです。

このワークショップの詳しい内容は、またそれぞれお読みいただければよろしいのですが、「児童養護施設との活動7つのヒント」が23ページにありますのでご紹介します。

■23ページ

「児童養護施設との活動 7つのヒント」

1. 賛同を得る

ロータリークラブの認知ですが、残念ながら……というのが現実。私たちがどのような団体であるのか、相手に丁寧に説明する必要があります。また、施設側は調整作業や予算作成のために「イベントの内容」が知りたい、というのが本音です。賛同を得るためにも、訪問時にはイベントの概要(日にち・場所・時間・内容)を整理し、準備しておきましょう。

2. 専門的な知見を備える

専門的な知見(有識者がいると、なお可)を伴うイベントであることを伝えると安心感を得やすいです。

3. 距離感

「適切な距離感」を心がけましょう。近づきすぎず、かといって壁を作り過ぎない。施設職員とも、子どもとも、自然な関係を保つことが大切です。慈善の気持が表に出て、距離が近づき過ぎたことでトラブルになるケースは、支援の現場で少なくありません。

4. マナー

虐待体験により、体への接触到に敏感な子もいます。肩をポン、などの行為に気を付けましょう。光や音などを刺激として感じる、感覚過敏の子がいる可能性

もあります。また、家族に居場所を知らせていないケースがあります。秘匿の子どもに配慮し、写真・動画の撮影は最小限に。必ず施設側に確認しましょう。文中でも記しましたが、顔が隠れていても、衣服などが露出していてNGになるケースもあります。

5. 背景の理解

児童養護施設のお子さんは、諸事情(母子家庭・父子家庭・疾病・虐待など)を抱えています。多様な背景を理解しましょう。

6. 「その子」へ向き合う

さまざまな背景があることを理解した上で、目の前の「その子」に対して向き合しましょう。そこは「特別」ではなく、ロータリアンとお子さんの「その瞬間の信頼関係」が大事なのです。

7. 何よりも大事なこと

大人が「生き生き」と「楽しく」働いている姿を見せる。そういった大人が社会には多くいること。世界は広いということ……ロータリアン自身が改めて、自分を振り返ることも大切な支援の一環です。

■縦書き 19ページ

「卓話の泉」

「忍者の処世術」という、忍者の方が書いた記事があります。処世術というのは、世渡りするための方法のことです。このロータリークラブには、私のように世渡りが下手な方、逆に達人級の方が多く見受けられるような気がしますが。

記事では、まず忍者の仕事の移り変わりについて書いてあります。戦国時代の忍者は、主に奇襲、侵入などを任務としていました。黒い衣装を着て隠れ戦う忍者を陰忍と呼ぶそうです。まさに「陰の人」というイメージです。江戸時代に入り戦いが減ると、陰忍としての仕事も減り、諜報、謀略などスパイのような対人関係を駆使する、陽忍が発達したそうです。この陽忍の技が、現在の対人関係にも応用できるスキルだと言っています。

例えば

- ・目的地に入るときにはその地の方言を修得する
 - ・その国の風俗や人々の性質、地理なども調べる
 - ・現地で案内人となる地元の人とのネットワークを築いておく
- 怪しまれない職業と格好を選んで服装もわきまえ、入念な準備をすると良いそうです。

最後に人に信用される方法が書かれています。偉そうな態度は警戒されるため、下手にでながらも信頼を得ていく術で「人を破らざるの習い」という術があるそうです。具体的には、相手から自慢話をされても「知っているよ」と論破してはいけません。自分は知性があることをなるべく出さずにいると、相手は気分良く話しをしてくれるようになります。いざというときは、相手の話に合わせて鋭い質問を投げるなどして信頼を得ていくと言うような術だそうです。

最後の手段として、いざ見つかった時のために、恋文を持っておくと良いそうです。忍者だとばれれば拷問され、殺される場合がありますが、恋文を持っているとそこまでされない可能性があったと書かれています。現代の世渡り術としてラブレターが通用するのかわどなたか試してみただいただければと思います。

[幹事報告]

酒巻 弘 幹事

1. R I the rotarian 10月

2. 地区事務所

ガバナー月信10月号電子ブック

URLのお知らせ

10月ロータリーレートお知らせ142円

地域社会の経済発展月間リソースのご案内

3. 豊かな環境づくり 上小地域会議

令和6年信州エコスタイルごみ削減推進事業「エコ・クッキング教室」の開催についてのご案内

4. 信州民報

上田RC 青少年の健全育成活動一環でボーイスカウトガールスカウトへ賛助金を贈る

5. 例会変更 長野RC 10月1日(火) 定受なし

15日(火) 定受なし

22日(火) 定受なし

11月5日(火) 定受なし

12日(火) 定受なし

19日(火) 定受なし

長野東RC 10月9日(水) 定受なし

16日(水) 定受なし

30日(水) 定受なし

10月23日(水) 定受あり



[ニコニコBOX]

佐藤 倫 委員

飯島幸宏さん 石井懋人さん 伊藤典夫さん 小熊直人さん 小幡晃大さん 織英子さん 金子良夫さん 北村修一さん 窪田秀徳さん 桑原茂実さん



小松佳樹さん 小山宏幸さん 齊藤達也さん 酒巻弘さん 佐藤倫さん 滋野真さん 春原宏紀さん 関啓治さん 関勇治さん 高橋鼓さん 田邊利江子さん 成澤厚さん 林秀樹さん 布施修一郎さん 保科茂久さん 三井英和さん 矢島康夫さん 柳澤日出男さん 柳澤雄次郎さん

本日喜投額 29名 ¥104,500

累計 ¥573,500

[例会の記録]

司会：保科 茂久 会場・出席委員

斉唱：国歌・ロータリーソング

- 慶祝 ●米山奨学生 金セハさんへ奨学金の授与
- 会長挨拶 ●幹事報告
- 「ロータリーの友」紹介 酒井 喜雄さん

[ラッキー賞]

齊藤達也さん (滋野 真さんより 純米 雪中梅)

矢島康夫さん

(金子良夫会長より

群馬ガトーハラダの

ラスク)



[出席報告]

保科 茂久 委員長



	本日	前々回 (9/9)
会員数	52	51
出席ベース	51	49
出席者数	42 コロナ欠席1	35
出席免除(b) ()内は出席者数	4(3)	4(2)
メイクアップ ()内はMake up後		0(35) コロナ欠席0
出席率	84.31	71.43

[次回例会予定]

10月28日(月) 11月慶祝

会員卓話 戦略計画委員会

『ロータリーの友』紹介

(10月21日発行)

【会報担当】 藤森 幸路 会報委員